

第4期 (2021年3月15日)	
基準価額	8,403円
純資産総額	636百万円
第4期 (2020年3月17日～2021年3月15日)	
騰落率	31.4%
分配金合計	0円

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記の弊社ホームページを開き「ファンド」より当ファンドの名称を選択いただき、さらに「運用報告書（全体版）」を選択いただきますと運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 書面での運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

iTrust新興国株式 愛称：働きざかり ～労働人口増加国限定～

追加型投信／海外／株式

第4期（決算日：2021年3月15日）

作成対象期間：2020年3月17日～2021年3月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「iTrust新興国株式」は、このたび、第4期の決算を行いました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主に新興国の中でも相対的に高い成長が期待される国の株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的としております。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ投信投資顧問株式会社

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

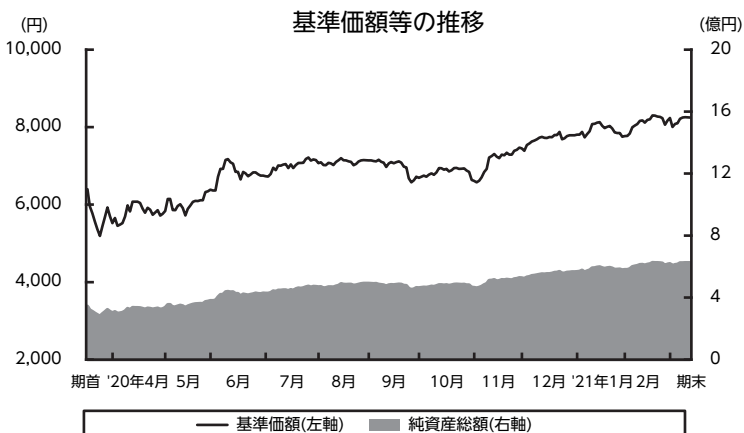
電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

運用経過

基準価額等の推移



第4期首 : 6,397円
第4期末 : 8,403円
(既払分配金 0円)
騰落率 : 31.4%

基準価額の主な変動要因

- 上昇▲ ・実質的に組入れている株式の価格が上昇したこと
- 上昇▲ ・実質的に組入れている株式からの配当収入
- 上昇▲ ・円に対して南アフリカランドやインドルピーなどが上昇したこと

1万口当たりの費用明細

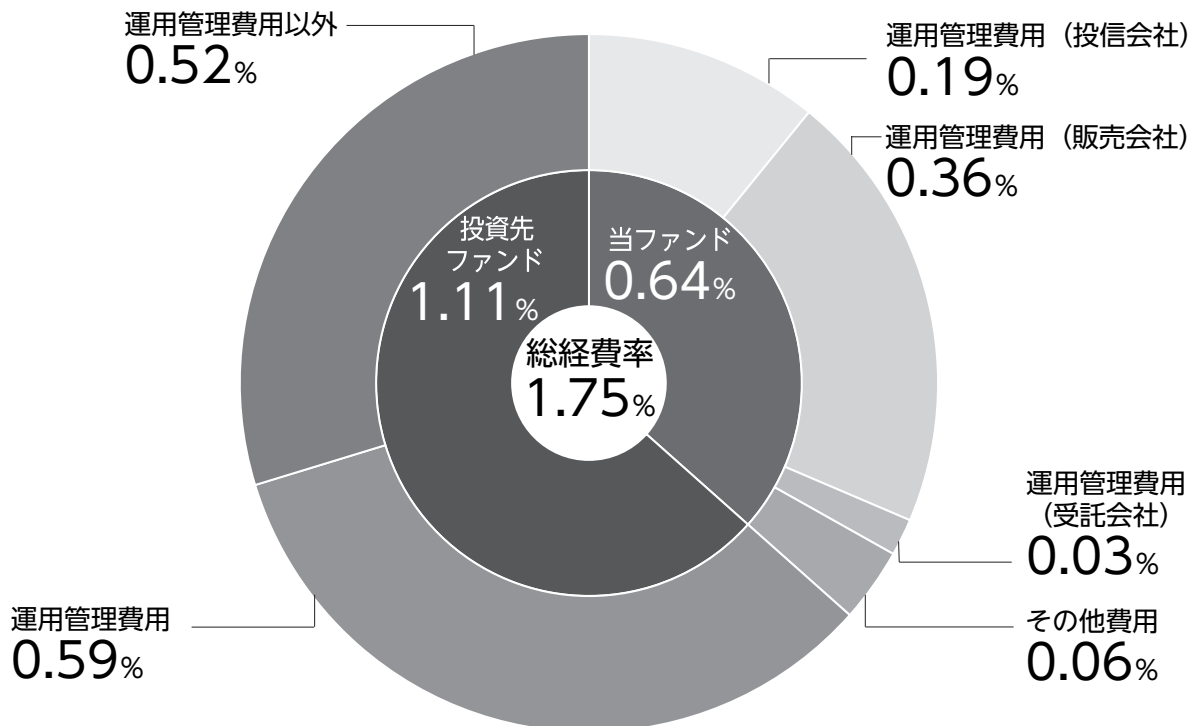
項目	当期 (2020年3月17日~2021年3月15日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	6,936円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 (投信会社)	40円 (13)	0.576% (0.186)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(25)	(0.362)	
(受託会社)	(2)	(0.027)	
(b) その他費用	4	0.056	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(4)	(0.056)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	44	0.632	

- ・上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。
- ・各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・各金額の円未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

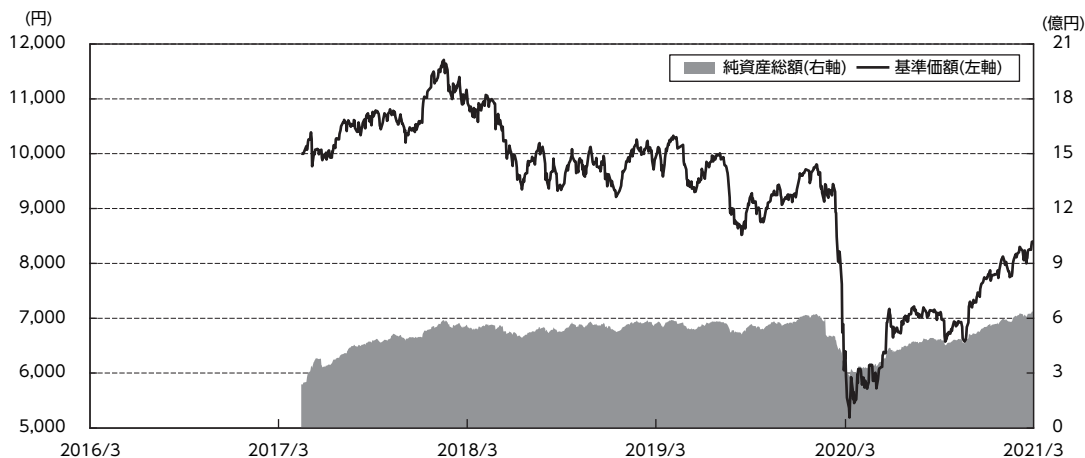
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）**は1.75%です。



総経費率 (①+②+③)	1.75%
①当ファンドの費用の比率	0.64%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.52%

- ・①の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。
- ・投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。
- ・①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- ・①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ・③その他費用の比率が入手できない投資信託証券の場合、②運用管理費用の比率に総経費率を集計しています。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移 (2016/3/15~2021/3/15)



・設定日（2017年4月28日）以降の推移を表示しております。

決算日	2017/4/28 (設定日)	2018/3/15	2019/3/15	2020/3/16	2021/3/15
基準価額 (円)	10,000	11,044	9,936	6,397	8,403
期間分配金合計 (税引前、円)	—	0	0	0	0
基準価額騰落率	—	10.44%	-10.03%	-35.62%	31.36%
純資産総額 (百万円)	237	558	569	344	636

・当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

投資環境

- ・新興国株式市場は、期首から2020年8月にかけては、新型コロナウイルス感染拡大に対する懸念が根強くあったものの、各国政府や中央銀行による景気下支え策への期待などから上昇しました。9月から10月にかけては方向感に欠ける展開となりましたが、11月から2021年2月中旬にかけては、米国大統領選挙でバイデン氏が勝利し政治的な不透明感が後退したことや、新型コロナウイルスワクチンの普及期待などを背景に上昇基調が継続しました。その後期末にかけては、景気回復が高まる中で米国長期金利が上昇したことが重しとなり軟調に推移しました。期を通じてみれば、新興国株式市場は上昇しました。
- ・為替市場では、期首から2020年5月にかけて、新型コロナウイルス感染拡大を巡る不透明感が意識されたことなどから、新興国通貨は対円で不安定な相場展開となりました。6月から10月にかけては、一部の国で経済再開に対する期待が高まったことなどを背景に小幅ながらも対円で上昇しました。その後期末にかけては、米大統領選挙でバイデン氏が勝利し政治的な不透明感が後退したことや、新型コロナウイルスワクチンの普及期待が高まったことなどを背景に対円で一段の上昇となり、期を通じてみても新興国通貨は対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオ

投資信託証券への投資を通じて、主に新興国の中でも相対的に高い成長が期待される国の株式に投資しました。

投資先ファンドの組入状況

<ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・グロウイング・マーケット・ファンド>

主に高い経済成長が期待される新興国の株式に投資しました。

◇組入上位10ヵ国・地域

【期末】

国・地域名	組入比率
インド	18.6%
南アフリカ	17.9%
ベトナム	11.0%
ブラジル	10.2%
メキシコ	7.4%
アラブ首長国連邦	7.2%
マレーシア	7.0%
トルコ	6.4%
インドネシア	4.1%
タンザニア	2.4%

◇業種別組入比率

【期末】

業種名	組入比率
素材	22.1%
金融	14.9%
コミュニケーション・サービス	8.9%
一般消費財・サービス	8.8%
生活必需品	8.7%
不動産	8.0%
ヘルスケア	7.9%
情報技術	5.4%
資本財・サービス	5.1%
公益事業	4.3%
エネルギー	3.4%

・組入比率は当該投資先ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターに基づき表示しています。

◇組入上位10銘柄

【期末】

銘柄名	国・地域名	業種名	組入比率
アメリカ・モービル	メキシコ	無線通信サービス	3.1%
スザーノ・パペル・エ・セルロース	ブラジル	紙製品・林産品	3.0%
アストラ・インターナショナル	インドネシア	自動車	2.9%
トップ・グローブ	マレーシア	ヘルスケア機器・用品	2.9%
インパラ・プラチナム・ホールディング	南アフリカ	金属・鉱業	2.7%
シバニエ・スティルウォーター	南アフリカ	金属・鉱業	2.4%
アングロゴールド・アシャンティ	タンザニア	金属・鉱業	2.4%
コマーシャル・インターナショナル銀行	エジプト	銀行	2.3%
アルダー・プロパティーズ	アラブ首長国連邦	不動産管理・開発	2.3%
エマール不動産	アラブ首長国連邦	不動産管理・開発	2.3%

・組入比率は当該投資先ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）の産業に基づき表示しています。

<ピクテショートターム・マネー・マーケットJPY>

短期金融商品等に投資を行い円建てでの高水準の元本の安定性と短期金融市場金利の確保を目指し運用を行ってまいりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

分配金

当期の収益分配は、見送りとさせていただきます。
なお、留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

◆分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第4期
	自 2020年3月17日 至 2021年3月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	621

- ・対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。
- ・「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(1) 投資環境

長期的には、新興国経済は、若い労働人口が豊富であることなどを背景に、中間所得層の持続的な拡大や構造変化に後押しされ、先進国を凌ぐ成長力を有しているとの見方には変更ありません。足元では引き続き新型コロナウイルスの感染拡大による経済へのマイナスの影響も懸念されていますが、これも長期的な経済成長見通しには大きな影響を及ぼさないと考えています。短期的にはより多くの新興国が金融緩和に踏み切っていることや減税などの政策対応を行っており、新興国経済の下支えとなると期待しています。また、貿易摩擦問題や地政学リスクなどは依然として懸念材料として存在していますが、引き続き中長期的には中国をはじめとしたアジア地域、そして新興国全体の成長見通しは良好であるとの見方には変わりありません。

(2) 投資方針

投資信託証券への投資を通じて、主に新興国の中でも相対的に高い成長が期待される国の株式に投資します。

<ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・グロウイング・マーケット・ファンド>

労働人口の拡大に注目し、相対的に高い経済成長が期待できる国を厳選した上で、バリュエーション（投資価値評価）や企業のファンダメンタルズ（基礎的条件）に魅力ある銘柄に注目して投資を行う方針です。

お知らせ

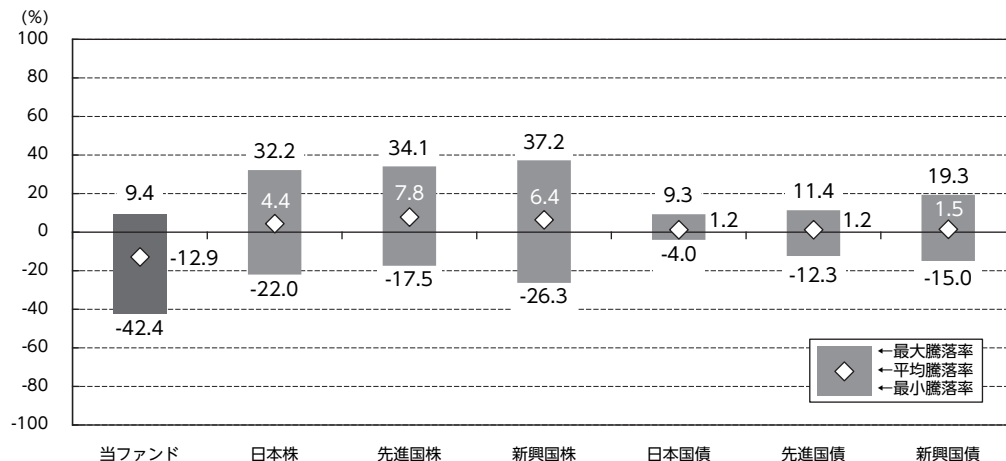
該当事項はありません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2017年4月28日（当初設定日）から無期限です。
運用方針	主に投資信託証券に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。
主要投資対象	①ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド・グローバル・グローイング・マーケット・ファンド受益証券 ②ピクテ・ショートターム・マネー・マーケット J P Y 投資証券
運用方法	①投資信託証券への投資を通じて、主に新興国の中でも相対的に高い成長が期待される国の株式に投資します。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託の受益証券以外の有価証券への直接投資は行いません。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(当ファンド：2018年4月末～2021年2月末、代表的な資産クラス：2016年3月末～2021年2月末)



○上記グラフは、対象期間中の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。対象期間が異なることにご留意ください。各資産クラスについては以下の指数に基づき計算しております。

○各資産クラスの指標

- 日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
- 先進国株 MSCIコクサイ指数 (税引前配当込み、円換算)
- 新興国株 MSCIエマージング・マーケット指数 (税引前配当込み、円換算)
- 日本国債 NOMURA-BPI国債
- 先進国債 FTSE世界国債指数 (除く日本、円換算)
- 新興国債 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円換算)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託者が円換算しております。

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近前月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2021年3月15日現在)

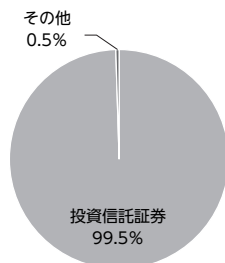
■組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

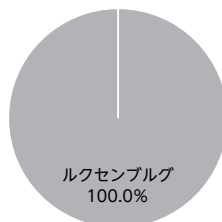
ファンド名	第4期末 2021年3月15日
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・グローイング・マーケット・ファンド	98.5%
ピクテ・ショートターム・マネー・マーケットJPY	1.0%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の割合です。

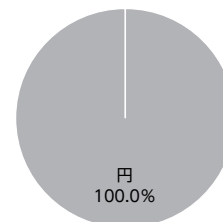
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



・資産別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分および通貨別配分の比率は当ファンドの組入投資信託証券の評価額合計に対する割合です。

純資産等

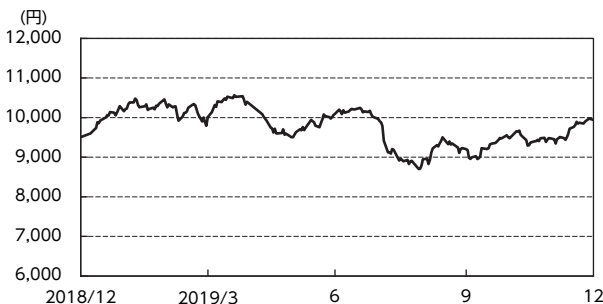
項目	第4期末 2021年3月15日
純資産総額	636,734,019円
受益権総口数	757,788,579口
1万口当たり基準価額	8,403円

・当期中における追加設定元本額は387,958,971円、同解約元本額は169,107,567円です。

組入上位ファンドの概要

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・グローイング・マーケット・ファンド
(2019年12月31日現在)

■基準価額の推移



・基準価額の推移は当組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

■組入上位10銘柄

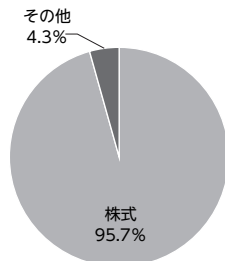
(組入銘柄数：132銘柄)

	銘柄	比率
1	GFNORTE FINANCIERO BANORTE 'O'	3.2%
2	ANGLO AMERICAN	2.9%
3	EMIRATES TELECOMMUNICATIONS GROUP	2.9%
4	VALE	2.7%
5	BANCO DO BRASIL	2.7%
6	FIRSTRAND	2.6%
7	ITAUSA INVESTIMENTOS ITAU PFD	2.6%
8	BANCO BRADESCO PFD	2.6%
9	ITC -DEMAT.-	2.5%
10	TENAGA NASIONAL	2.4%

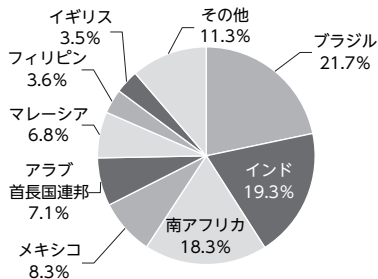
・比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合です。

・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

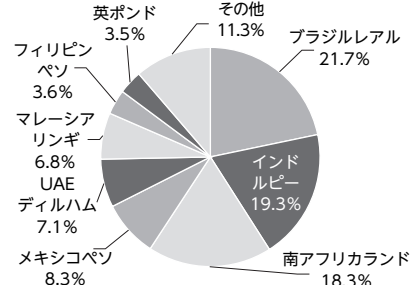
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



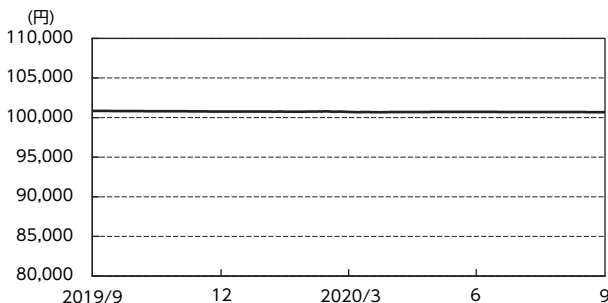
・資産別配分の比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合、国・地域別配分の比率は当組入ファンドの組入株式の評価額合計に対する割合です。

■1万口当たりの費用明細

当該情報につきましては開示されていないため、記載することができません。なお、損益計算書については運用報告書（全体版）に記載されています。

(2020年9月30日現在)

■基準価額の推移



・基準価額の推移は当組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

■組入上位10銘柄

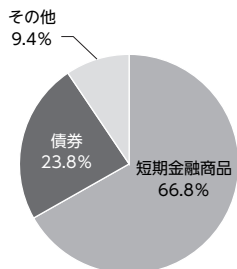
(組入銘柄数：68銘柄)

	銘柄	比率
1	TBI JAPAN 14/12/20 -SR-	5.5%
2	TBI JAPAN 12/10/20 S921 -SR-	5.0%
3	TBI JAPAN 19/10/20 -SR-	3.7%
4	TBI JAPAN 05/10/20 S919 -SR-	3.6%
5	TBI JAPAN 02/11/20 S926 -SR-	2.7%
6	TBI JAPAN 25/02/21 -SR-	2.5%
7	TBI JAPAN S938 21/12/20 -SR-	2.5%
8	TBI JAPAN 24/11/20 S931 -SR-	2.5%
9	TBI JAPAN 11/09/20 S928 -SR-	2.5%
10	TBI JAPAN 26/10/20 S925 -SR-	2.5%

・比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合です。

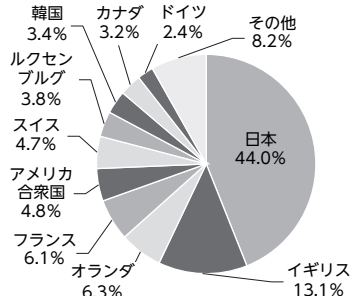
・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

■資産別配分

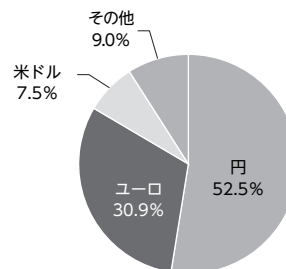


・資産別配分の比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合、国・地域別配分および通貨別配分の比率は当組入ファンドの組入債券および短期金融商品の評価額合計に対する割合です。

■国・地域別配分



■通貨別配分



■1万口当たりの費用明細

当該情報につきましては開示されていないため、記載することができません。なお、損益計算書については運用報告書（全体版）に記載されています。

指数に関して

○「代表的な資産クラスと騰落率の比較」に用いた指数について

■東証株価指数（TOPIX）（配当込み）：

東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とし、浮動株ベースの時価総額加重型で算出された指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）に帰属します。東証は、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東証は同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■MSCIコクサイ指数（税引前配当込み）：

MSCIコクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■MSCIエマージング・マーケット指数（税引前配当込み）：

MSCIエマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■NOMURA－BPI国債：

NOMURA－BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。

■FTSE世界国債指数（除く日本）：

FTSE世界国債指数（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイド：

JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指数です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。